

平成 31 年 (2019 年) 2 月 1 日

横須賀市長 上地 克明 様

横須賀市FM戦略プラン検討委員会
委員長 鈴木 伸治

横須賀市FM戦略プランについて (答申)

平成 30 年 (2018 年) 7 月 30 日付け横財F 第 9 号で諮問があった標記の件について、下記のとおり答申します。

記

1 横須賀市FM戦略プランについて

別冊のとおりとします。

2 計画に関する意見

(1) 計画のあり方について

今後も人口減少の進展が見込まれる中、貴市の公共施設が置かれている状況は、大変厳しいものだと思います。これまでどおりの考え方では、施設更新費用等、公共施設に関する財源を将来的に確保できなくなることが想定されます。こうした背景について庁内外問わず共有を図り、早急かつ着実に、公共施設の再編を進めてください。

なお、公共施設は、まちを構成する大きな要素でもあります。財政面から施設のあり方を検討していくことは必要なことですが、これからも貴市が魅力を持ち続けるために、施設の再編等にあたっては、まちづくりの視点も欠かすことのないようにご留意ください。

(2) 計画の推進にあたって

市民利用あつての公共施設であることから、計画の推進にあたっては、市民の声を聴き、協力も得る等、市民と一体となって取り組むことが重要です。

折しも、貴市は、中長期的な視点で目指すべき姿のひとつとして、「個性ある地域コミュニティのある都市」を掲げています。また、地域には、自ら美化活動に取り組む団体など、まちづくりに高い関心を持つ市民が多数います。

公共施設の再編、特に、地域に密着した施設の再編にあたっては、そういつ

た市民の力も借りながら、公共施設が地域の財産として、有意義な場所となるように、熟考を重ねていただければ幸いです。

(3) 計画の進捗状況等について

当計画の進捗状況の評価にあたり、外部有識者等の視点を入れる旨を明記しました。

当計画で掲げた縮減目標の達成は、決して容易なものではありません。目標に向かって着実に進めていくためには、計画の内容について市民と共有を図るとともに、進行管理に第三者が関わることを重要だと考えます。

計画は、策定して終わりではありません。むしろ、策定してからが本番ですので、進捗管理や取組み状況の情報公開を的確に、そして積極的に行ってください。

(4) 多様なニーズへの対応について

生活様式の多様化に伴い、公共施設に対するニーズも多様化が進んでいます。公共施設は、市民のニーズに応じて整備されてきたため、ニーズが変われば施設のあり方も見直していかなければなりません。

今後さらに人口減少の進展が予測されていますが、そういった中であっても、例えば、共働き世帯の割合や単身世帯の割合が増加しているといったことが生じています。

今後の公共施設のあり方を具体的に検討する際には、あらたな市民ニーズを的確に捉えて進めてください。